

小さな命と触れ合う！ 赤ちゃんふれあい体験教室

10月30日(水)、上ノ国中学校で「赤ちゃんふれあい体験教室」が行われ、3年生の生徒たちが出席しました。

この教室は、家庭科の授業の一環として、命と家族の繋がりの大切さを学ぶために町の保健福祉課と連携し、町内のお母さんたちの協力を得て実施されました。

生徒たちは赤ちゃんと対面し、最初は恐る恐る触れていましたが、時間が経って慣れてくると積極的に抱っこするなど命の温もりを体感していました。

その後、お母さんたちから子育ての苦労とそれに勝る子どもたちの成長の楽しみを聞き、生徒たちは多くの学びを得ていました。



雨の中がんばった！

河北小学校 林業体験

11月6日(水)、河北小学校の4年生から6年生計7名が、北海道指導林家の菊地時男氏が所有する山林で林業体験をしました。

まず、菊地指導林家からヒバの枝打ちの指導を受け、その後一本ずつ枝打ちを体験しました。枝打ちとは、余分な枝を切り落とすことで、節のない材木の生産や病害の防止などを目的に行う作業です。

児童たちは、限られた時間の中でノコギリを使って力いっぱい枝を切り落としていました。

体験を終えた三國颯真さん(6年生)は、「珍しい体験ができて嬉しかった！」と声を弾ませて感想を話していました。



上ノ国ワインの魅力

魅力を堪能

11月10日(日)、上ノ国ワイナリー主催のワインまつりが開催され、町内外から約30名が訪れました。

施設見学では、設備や製造の流れなどが説明された後、ワイン樽について質問があり、参加者のワイン好きが垣間見えました。

直売所は試飲する方たちで賑わい、ナイアガラを試飲した函館市の女性には「さっぱりしていて飲みやすい！」と感嘆の声をあげ、3種類のワインを1本ずつ購入していました。

また、日本のワインを愛する会会長の辰巳琢朗氏などをゲストにトークショーが行われ、ワインに対する熱い思いが語られました。



会員の交流を深める

第1回モルック交流会

11月14日(木)、ジョイ・じよぐらで上ノ国町老人クラブ連合会主催の第1回モルック交流会が開催され、57名が参加しました。

この交流会は、気軽に楽しめるモルックを通じて各地区の会員の交流を図るとともに、スポーツを楽しむ豊かな生活を送る目的で行われました。

1チーム4名編成で計15組のチームが2つのコートに分かれて白熱した試合を繰り広げました。会場内は終始大盛り上がりで、寒くなってきた時期に室内で体を動かしながら話に花を咲かせ、体も心もあたたまる交流会となりました。

